



子供が自立し

みんなの活躍で創り上げる学校



主体性

自律性

協働性

校長 島 章人

万田っ子大活躍!その1

少し秋らしくなってきました。「文化の秋」「スポーツの秋」は、子供たちも

大活躍。10月中旬からいろんな場で万田っ子の活躍が光りました。

まずは、10月17日に行われた親睦陸上記録会。練習の成果を発揮し自分の記録に挑戦すると共に、他の学校の同じ6年生との親睦を図ることがこの大会の目的です。今年の夏はあまりにも暑く、9月に入っても熱中症警戒アラートが出続けたため、十分な練習ができませんでした。それでも、ベストを尽くす子供たちの姿が印象的で、喜びや悔しさが見ているこちらに伝わってくるようでした。全員に拍手を送りたいと思います。



【上位入賞者】

- 男子100m走 2位 松本颯斗(14秒1)
- 女子走り高跳び 2位 福田せらん(115cm)
- 男子50mハードル 4位 塚本魁李(9秒3)
- 男子400mリレー 6位 万田2 ※松本颯斗、塚本魁李、高場皇多、栗林海成(1分00秒0)
- 女子50mハードル 2位 杉本杏菜(10秒2)
- 男子800m走 3位 松本颯斗(2分35秒9)
- 男子走り高跳び 4位 栗林海成(118cm)

おめでとうございます。

万田っ子大活躍!その2

次に紹介するのは、11月3日に行われた荒尾市民文化祭でステージ発表を行った3年生です。郷土が誇る詩人「海達公子」について、これまで学習してきたことを音読劇のように発表することができました。大きな舞台にも臆することなく、大きな声で堂々と呼びかけを行い、歌を歌うことができました。観客からもたくさんの拍手をもらいました。3年生の活気と優しさを感じるステージ発表で、私も感動しました。



裏もあります

子供が自立しみんなの活躍で創り上げる学校(裏面)

万田っ子大活躍!その3

「万田っ子大活躍!」の第3弾は、6年生の修学旅行です。今年も、修学旅行先である長崎で、荒尾市の観光PRをしてきました。今年は、熊日新聞社の持つノウハウを教えていただきながら、「万田坑新聞」を作りましたので、自分が作った万田坑新聞の裏に、荒尾市の観光パンフレットを印刷し、観光客に一人ずつ手渡しをしました。京都から観光に来ていた人から、後日、万田小に「万田坑のことを詳しく勉強してPRしている」と言うことが分かりました。機会があれば、是非荒尾にも行ってみたいです。」と電話がありました。少しの勇気と行動で人の心に訴えることができる、その経験が子供たちにとっても素晴らしいことだと思います。

また、平和公園で行った平和集会では、子供たちの心のこもった呼びかけや歌声に誘われたのか、多くの観光客が集まってきました。海外からの観光客であろう年配の女性から、引率の先生に「感動した。素晴らしい子供たち。ハグしたいほどだ。」とお褒めの言葉をいただいたと聞きました。その方も、簡単な英語を使って、自分の思いや感動を何とか伝えたいと思ったのでしょう。お互いに言葉は分からずとも、思いは伝わるんだなあとうれしい気持ちになりました。

万田坑 荒尾市の宝



歴史的遺構綺麗に現存

万田っ子新聞

荒尾市立万田小学校

万田坑は三池炭鉱の一つで、平成27年(2015)7月に世界遺産になりました。万田坑は石炭を掘っていた場所です。万田坑の建物には色々な使い道がありました。その中で、なぜ世界遺産に登録されたのかや、働いていた人の思いについて教えます。

まず、なぜ世界遺産に登録されたのかについてです。万田坑は歴史的背景と遺構が綺麗な状態になったことから世界遺産になったのです。次に働いていた人の思いについてです。実際に働いていた人は石炭を掘る時に安全が一番大切なこと

ぜひ来てください!

万田坑が世界遺産になったことがすごいと思いました。綺麗な遺構が残っていることや歴史的背景であったことを知りました。他にも実際に働いていた和田さんに話を聞いて、とても危険な仕事だったと改めて感じました。万田坑は荒尾市の誇りです。これからも万田坑について知っていきましょう。皆さんも荒尾市に来たらぜひ、万田坑に来てみてください。



お知らせ

○再度のお知らせです。荒尾教育フォーラムが、11月16日(土)14:00～ 荒尾文化センターにて行われます。万田小6年生が、万田坑ガイドの取組や熊日新聞社とコラボした万田坑新聞製作の取組についてステージ発表を行います。

○12月に熊本県下一斉、熊本県学力調査が行われます。これは、スポーツで言えば、いきなり県大会に出場するようなものです。学校でも準備を行って学力の県大会に臨みたいと思いますが、各ご家庭でも、宿題にしっかり取り組むよう声かけをお願いします。